



ふくしまっ子食育指針

福島県の食育標語「食育で笑顔と健康 未来づくり」



I 基本的な考え方

本県の学校における食育は、

- 1 知育、徳育、体育の基礎となるものと位置付け、子どもたちが生涯にわたって心身ともに健康で生き生きとした生活を送ることを目指します。
- 2 子どもたち一人一人が望ましい食習慣を身に付けることができるよう、家庭や地域社会との連携のもと、教育活動全体で取り組みます。
- 3 福島の多彩な食材の理解と食文化の継承を通して、豊かな人間形成を目指します。

II 目標

- 1 幼児・児童生徒の発育・発達段階に応じ、食に関する知識や食を選択する力を養い、それらを生かして、自ら望ましい食生活を実践していく力「**食べる力**」をはぐくみます。
 - 食事のリズムをもつ。
 - 体のことを考えて食べる。
 - 一緒に楽しく食べる。
 - 自ら進んで食事作りをする。
 - 食を通じた健康づくりに主体的にかかわる。
- 2 食をとおり、自然や人々とのかかわりの中で「**感謝の心**」をはぐくみます。
 - 食にかかわる人々へ感謝する。
 - 食材や器などを大切に使う。
 - 自然の恵みに対する感謝の心を持ち、いのちを大切に使う。
 - 食に関する活動をとおり、主体的に人々とかかわる。
- 3 ふくしまの気候・風土に根ざした食文化を理解し「**郷土愛**」をはぐくみます。
 - 家庭の味を知る。
 - 日本型食生活のよさを理解する。
 - 地域の郷土食や行事食を知り、受け継ぐ。
 - 浜通り・中通り・会津の三地方それぞれの豊かな食材と季節感あふれる食を知り、味わう。

III 発育・発達段階に応じた望ましい食に関する行動指標



望ましい食習慣の形成